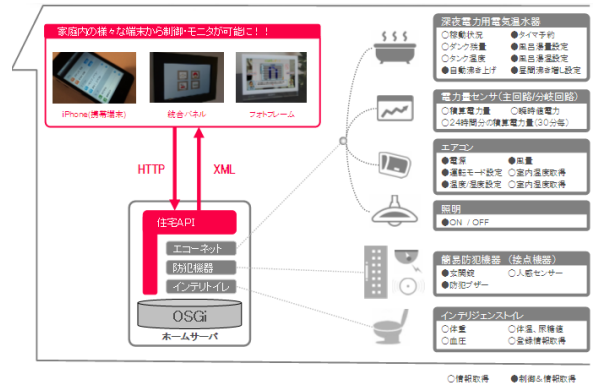


『住宅API』を活用したスマートハウス

『住宅API』とは

家庭内の複数の機器を操作することが出来る「アプリ（プログラム）」をメーカーやサービスプロバイダ以外の第三者が開発できるように共通化されたAPIのことです。

ホームサーバに住宅APIを搭載することで、様々な端末から家庭内機器の制御が可能になります。



OSGiソフトウェア

住宅APIをOSGiソフトウェアとして実装しています。

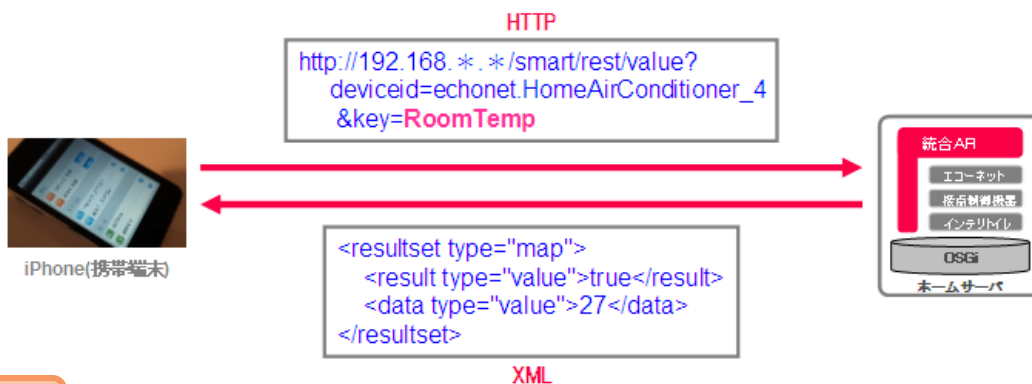
ホームサーバ等の機器が異なったとしてもOSGiフレームワークでメーカーや機種の違いを吸収することができるので様々な機器で住宅APIを動作させることができます。

ECHONET対応

ECHONETなど共通化されたインターフェイスを使用すれば設定などは不要。

ホームサーバが家庭内ネットワークに接続されたECHONET機器を自動的に認識して、住宅APIから利用できるようになります。

住宅APIのコマンド例（エアコンの温度取得）



活用事例



iPhoneで家電操作



統合パネルで消費電力表示



フォトフレームで情報表示

※ 「iPhone」はApple Inc.の商標です。

※ 住宅APIは経済産業省「平成21年度スマートハウス実証プロジェクト」にて開発した技術です。